

10/22  
5474

# 物価3.0%上昇 31年ぶり

## 9月資源高・円安に電気・食料高騰

総務省が21日発表した9月の全国消費者物価指数は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が102.9と、前年同月比3.0%上昇しました。上昇率は消費増税が影響した14年度を除けば、1991年8月(3.0%)以来、31年1カ月ぶりの水準となりました。

総務省が21日発表した9月の全国消費者物価指数

(2020年=100) 一段と高騰しました。上昇は13カ月連続。伸び率が日銀の物価安定目標の2%を上回るのは6カ月連続となりました。

は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が102.9と、前年同月比3.0%上昇しました。上昇率は消費増税が影響した14年度を除けば、1991年8月(3.0%)以来、31年1カ月ぶりの水準となりました。

ウクライナ危機を背景とする資源高に、急速な円安進行が重なり、生活に身近な電気・ガス代、食料品が

生鮮食品を除く食料は4.6%上昇で、上昇率は81年8月(4.7%)以来、41年1カ月ぶりの高さ。原材料価格の高騰や円安の影響で、から揚げや食パン、食用油、ポテトチップスなど多品目が値上がりしました。

調査対象の522品目のうち、上昇は380品目と全体の7割以上を占めました。総務省の担当者は先行きについて「エネルギーや原材料など輸入に頼る部分で影響が出てくる」と語りました。

消費者の実感に近い、生鮮食品を含む全体の総合指数は3.0%、生鮮食品とエネルギーを除く総合指数は1.8%上昇しました。

10/22 経済

# 円安一時150円台後半

## 東京市場 32年ぶり水準更新

21日の外国為替市場の円相場は一時1ドル150円台後半に下落し、約32年ぶりの円安水準を更新しました。米長期金利の上昇を背景に、日米金利差を意識した円売り・ドル買いが優勢となりました。

21日の外国為替市場で、円相場は150円台前半から半ばに下落。夕方に入り、円売りが加速しました。午後5時現在は150円47〜48銭と前日比61銭の円安・ドル高。

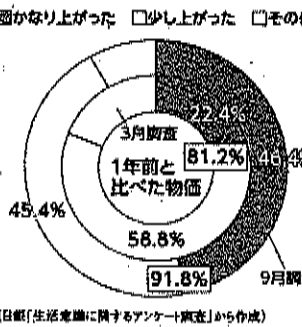
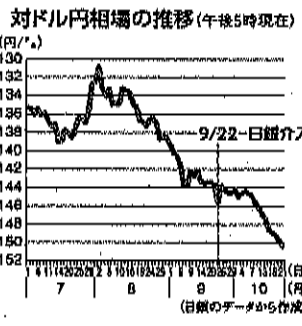
鈴木俊一財務相は21日の閣議後記者会見で「急速で一方的な円安進行は望ましくない」と過度な円売りをけん制しました。ただ、日銀の黒田東彦総裁は都内で開かれた会合で、金融緩和を継続する考えを強調。市場では日米の金融政策の違いに基づき円安圧力が強まる中、政府・日銀の介入への警戒感も高まっております、今後とも神経質

な値動きが続くようです。市場関係者は「介入を意識して円売りのペースは遅くなっているが、円安基調は明確。年内に155円程度まで下落してもおかしくない(大手邦銀)とし、今後もしじりと円安が進むと予想しました。

この日の東京市場

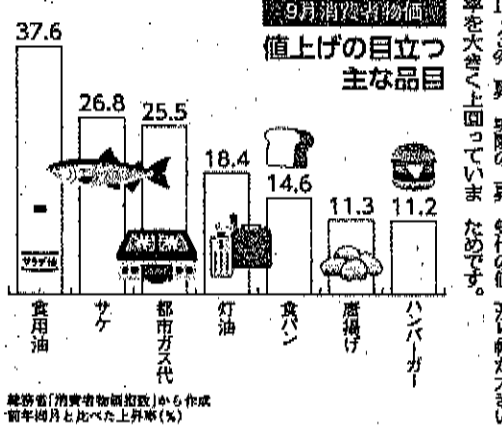
# 介入もなしに財界「八方ふさがり」生活守る抜本策早く

徴収済の物価指数をめぐり、日本経済が再び弱まっています。9月の日経平均株価は100円、東京市場、午後一時半の時点で、その後も加減。24日までの下落は10%以上で、100円台に突入しました。政府・日経は、物価指数も下げに水。9月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇しました。株田政権は打撃手なりの対応です。



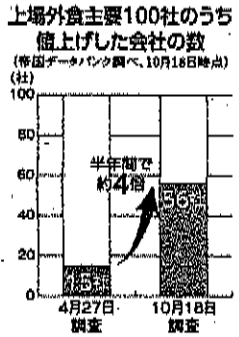
## 記録

9月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。



経済省「消費者物価指数」から作成。前年同月と比べた上昇率(%)

# 家計襲う急激円安



1次エネルギーの値上げ 平均50円

民間信用調査会社の福岡データバンクによると、外食企業主要100社のうち、1月から9月、日経平均株価は50社以上、値上げを実施したり、値上げの手数を公表したりした企業は50社以上、4月下旬までに値上げが判明した16社から約4倍に増加しました。1メニュー当たりの値上げ金額は平均50円となっています。

日経平均株価は前年同月比で0.7%上昇し、過去最高の1000円を突破しました。前年同月比の上昇は10カ月連続です。ロシエのウランナ燃料増産に伴うエネルギーや原料の価格高騰に加え、歴史的な水増しによる物価の上昇も押し上げられています。

急増

ドル/円 150.450

ドル/円

外貨とつとコム

悲鳴

東京ウエスタン・チャーシュー屋の経営者から悲鳴が寄せられています。東海地方の一般レストランの経営者は「物価の上昇が数軒を苦しめている」と悲鳴をあげます。北海道の

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。

抑制

8月の消費者物価指数は、前年同月比で0.8%上昇した。過去最大の値上りとなった。なかでも、光熱・水道は14.9%、食糧は4.2%も上昇。食用油は37.8%、サケは28.8%、身入も14.8%上昇した。